

(様式3)
【学校用】

令和3年 ふるさと教育 取組事例

学校名	出雲市立浜山中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	総合	「生き方学習」～職業について～	・地域講師 ・山陰中央新報社の新聞学習
ねらい	地域で活躍する方々の講話を通して、「仕事内容」や「働く意義」について知り、今後の生活や将来の進路に生かす。また、島根や出雲のよさについて考えるきっかけにする。		
<p>1 取組の概要</p> <p>①ハローワークの方を招き、就職に向けての進路や県内や出雲市の就職に関する現状を理解する。 ②職業適性アンケートを実施し、自分の適性と職業について考える。 ③地域講師を招き、「生き方」・「職業観」をテーマに講話を行う。職業調べの一助とする。 ④職業調べを新聞という形にまとめ、学年内でコンテストを行う。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>○生徒が地元で働くことのやりがいや意義に気づくことができるように、地元の企業家を講師として招き、仕事の楽しさや難しさについて話をいただいた。 ○人選にあたってはIターン者やUターン者にスポットあて、「外から見た島根の良さ」にも触れていただき、島根や出雲への愛着の高まりをねらった。 【講話の様子】</p>  <p>(学力育成の視点から)</p> <p>○若手企業家を講師として招き、自分の中学生時代や高校・大学生時代の話をつなぎ交ぜてもらって日々の学習への意欲喚起を図った。 ○山陰中央新報の新聞を使った新聞学習を通して、生徒の調べる力や表現力の向上を図った。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>○Iターンで島根に来た講師が、「都会にないものが島根にあり、島根で自分の力を生かすことができるからここに来た。」という話をされ、その言葉が心に残っているという感想が見られた。ふるさとの良さや自分の力を地域に生かすという視点に立つことができた。 【学内コンテストで掲示してある新聞】</p>  <p>(学力育成の視点から)</p> <p>○新聞学習を通して、目的を持って調べることができるようになり、書籍・インターネット・インタビューと様々な手法で効果的に情報を集める力を身につけた。また、表現力を高めることができ、生徒が作った成果物は見やすく端的にまとめたものが多かった。 ○講師の方々の学生時代のエピソードを聞いたことで、定期テストに向けての目標がより具体的になったり、日々の授業に意欲的に取り組む生徒が増えた。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>若い方々を講師に招き生徒との距離が近い形で話を聞くことは大変良かった。次年度のキャリア学習においても生かしていきたい視点である。今年度は、校外に出向き、地域を体験的に学ぶ機会を作ることができなかった。「もの・こと」に視点をあてた教育活動を展開していきたい。</p>			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)



*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。
(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)